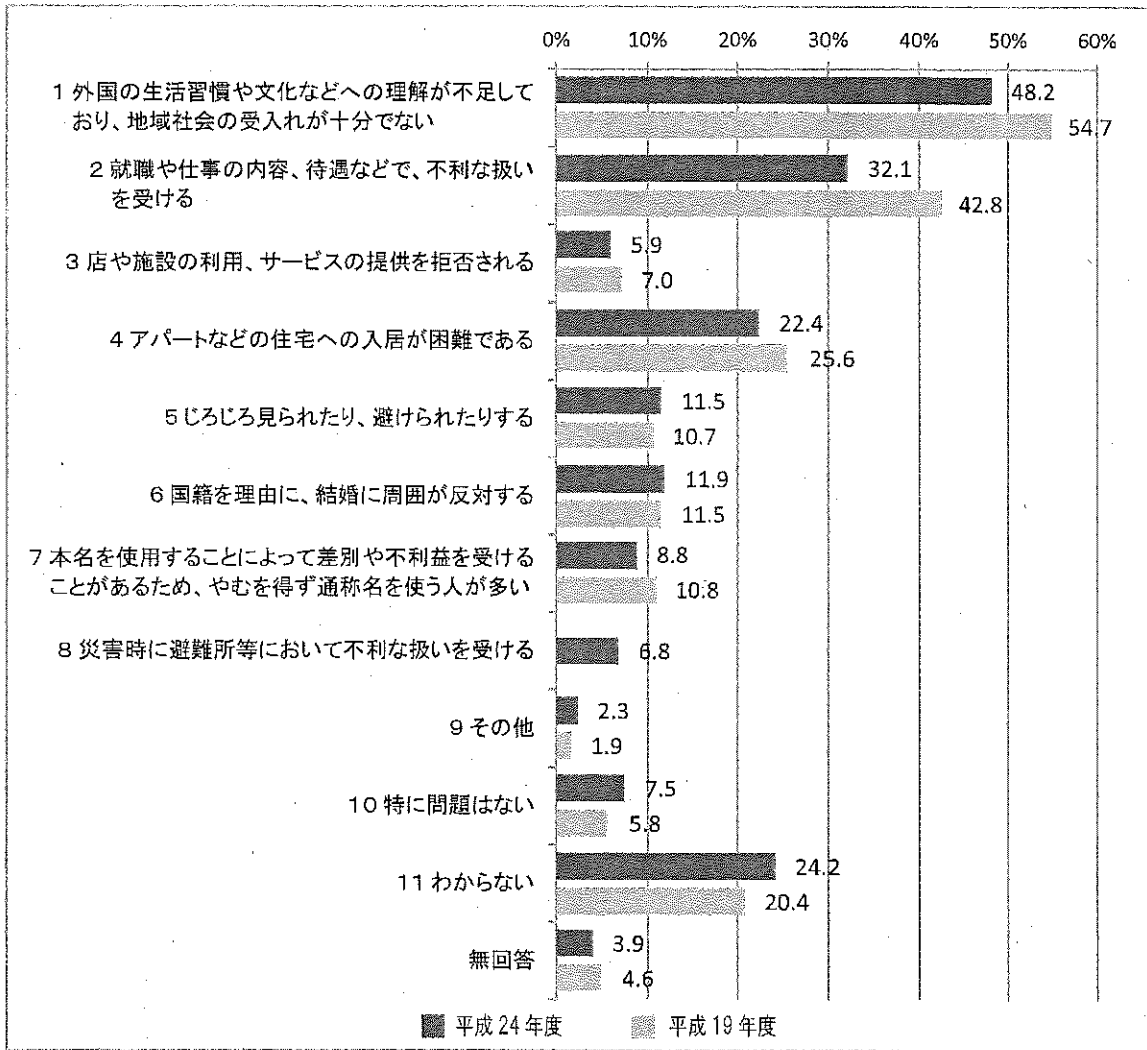


(6) 外国人の人権

問18 外国人に関することで、人権上、特にどのようなことが問題だと思えますか。(〇は3つまで)



■外国人の人権問題に関する意識

(%)

分類	合計 (人)	1 外国の生活習慣や文化などへの理解が不足しており、地域社会の受入れが十分でない	2 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受ける	3 店や施設の利用、サービスの提供を拒否される	4 アパートなどの住宅への入居が困難である	5 じろじろ見られたり、避けられたりする	6 国籍を理由に、結婚に周囲が反対する	
総数 (N)	1,295	48.2	32.1	5.9	22.4	11.5	11.9	
性別	男性	522	49.2	33.1	7.1	21.3	14.2	12.1
	女性	755	47.8	31.7	5.2	23.0	9.7	11.7
	不明	18	33.3	22.2	5.6	27.8	11.1	16.7
年齢別	20~29歳	101	56.4	45.5	11.9	19.8	18.8	16.8
	30~39歳	194	44.8	36.1	9.3	29.4	12.4	10.8
	40~49歳	190	51.1	34.2	4.7	22.6	13.2	15.3
	50~59歳	212	51.9	29.7	4.7	25.9	6.1	10.4
	60~69歳	300	49.7	32.0	5.3	18.3	11.3	10.0
	70~79歳	198	45.5	26.3	4.0	20.2	8.6	11.1
	80歳以上	84	34.5	25.0	4.8	17.9	17.9	13.1
	不明	16	31.3	18.8	-	31.3	12.5	12.5

分類	合計 (人)	7 本名を使用することによって差別や不利益を受けることがあるため、やむを得ず通称名を使う人が多い	8 災害時に避難所等において不利な扱いを受ける	9 その他	10 特に問題はない	11 わからない	無回答	
総数 (N)	1,295	8.8	6.8	2.3	7.5	24.2	3.9	
性別	男性	522	7.9	4.2	3.8	10.0	20.1	3.3
	女性	755	9.7	8.5	1.3	5.8	27.3	3.8
	不明	18	-	11.1	-	5.6	11.1	27.8
年齢別	20～29歳	101	12.9	10.9	2.0	6.9	11.9	-
	30～39歳	194	9.3	9.8	5.2	7.7	18.0	0.5
	40～49歳	190	11.6	7.9	2.1	6.8	18.9	1.6
	50～59歳	212	9.4	5.7	2.4	8.0	27.4	1.9
	60～69歳	300	10.0	4.7	1.3	6.0	27.0	4.3
	70～79歳	198	4.0	7.1	1.5	9.1	34.3	5.1
	80歳以上	84	3.6	2.4	1.2	9.5	27.4	17.9
	不明	16	-	6.3	6.3	6.3	-	31.3

【回答傾向】

外国人に関することで、人権上、特に問題があると思われることについて、「1 外国の生活習慣や文化などへの理解が不足しており、地域社会の受入れが十分でない」が48.2%と最も多く、次いで「2 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受ける」が32.1%、「4 アパートなどの住宅への入居が困難である」が22.4%となっている。

性別で見ると、女性より男性の割合が高い項目は、「5 じろじろ見られたり、避けられたりする」(男性：14.2%、女性：9.7%) となっており、男性より女性の割合が高い項目は、「8 災害時に避難所等において不利な扱いを受ける」(女性：8.5%、男性：4.2%) となっている。

年齢別で見ると、20歳代で「1 外国の生活習慣や文化などへの理解が不足しており、地域社会の受入れが十分でない」(56.4%)、「2 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受ける」(45.5%) が最も高い割合となっている。

【分析】

1位は「外国の生活習慣や文化などへの理解が不足しており、地域社会の受け入れが十分でない」(48.2%) である。2位は「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受ける」(32.1%) である。前回調査より前者は6.5ポイント、後者は10.7ポイント、それぞれ低下している。一方、「店や施設の利用、サービスの提供を拒否される」は5.9%、「災害時に避難所等において不利な扱いを受ける」は6.8%、「本名を使用することによって差別や不利益を受けることがあるため、やむを得ず通称名を使う人が多い」は8.8%、それぞれ基本的人権にかかわることだが、1割にも達していない。

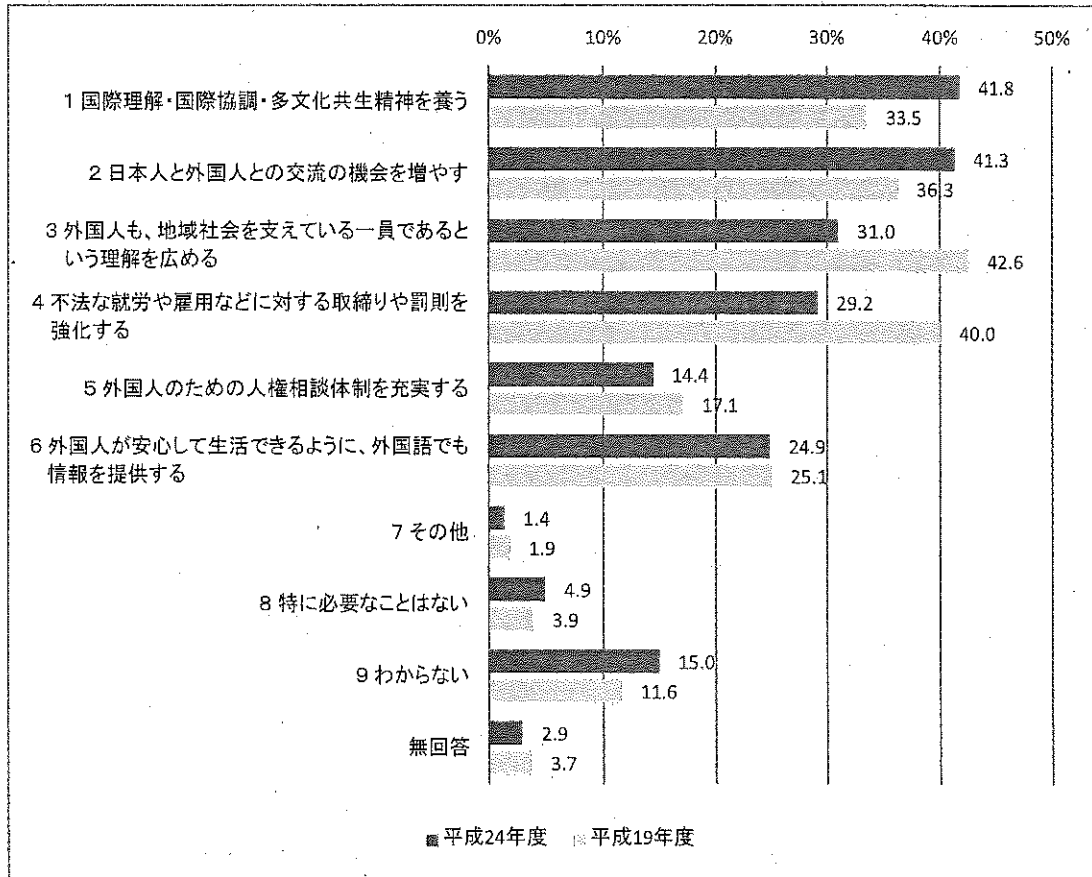
「わからない」が24.2%で他のどの人権課題よりも多い。特に50歳以上の高齢世代では3割前後がわからないと回答しており、外国人の人権について市民の理解が十分広がっているとはいえない。

▽各項目の「わからない」比較 (単位%)

1 女性の人権	4.2
2 子ども人権	1.7

3 高齢者の人権	3.8
4 障がい者の人権	7.6
5 外国人の人権	24.2
6 ハンセン病回復者の人権	22.1
7 HIVの人権	23.2
8 インターネットの人権	9.5

問19 外国人の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



■外国人の人権を守るために必要なこと

(%)

分類	合計 (人)	1 国際理解・国際協調・多 文化共生精神を養う	2 日本人と外国人との 交流の機会を増やす	3 外国人も、地域社会を 支えている一員である という理解を広める	4 不法な就労や雇用など に対する取締りや罰則 を強化する	
総数 (N)	1,295	41.8	41.3	31.0	29.2	
性別	男性	522	42.7	41.0	31.4	29.9
	女性	755	41.3	41.6	30.9	29.0
	不明	18	33.3	38.9	27.8	16.7
年齢別	20～29歳	101	55.4	45.5	32.7	29.7
	30～39歳	194	36.1	45.4	23.2	38.7
	40～49歳	190	43.7	43.7	29.5	33.2
	50～59歳	212	42.5	37.7	35.4	30.2
	60～69歳	300	42.7	39.3	33.0	24.3
	70～79歳	198	36.9	38.4	33.8	25.3
	80歳以上	84	42.9	47.6	27.4	23.8
	不明	16	31.3	25.0	25.0	18.8

分類	合計 (人)	5 外国人のための人権相談 体制を充実する	6 外国人が安心して生活 できるように、外国語で も情報を提供する	7 その他	8 特に必要な ことはない	9 わからない	無回答	
総数 (N)	1,295	14.4	24.9	1.4	4.9	15.0	2.9	
性別	男性	522	14.6	20.1	2.1	7.1	13.6	1.7
	女性	755	14.7	28.2	0.9	3.6	16.2	3.2
	不明	18	-	27.8	-	-	5.6	27.8
年齢別	20～29歳	101	10.9	30.7	4.0	5.9	7.9	-
	30～39歳	194	10.8	31.4	3.1	4.1	11.9	-
	40～49歳	190	13.7	23.7	1.1	6.3	12.1	1.1
	50～59歳	212	15.1	23.6	0.5	4.7	14.2	0.9
	60～69歳	300	15.7	25.0	1.0	4.7	18.0	3.7
	70～79歳	198	16.2	18.7	0.5	5.6	22.2	5.6
	80歳以上	84	21.4	22.6	-	3.6	13.1	8.3
	不明	16	-	31.3	6.3	-	6.3	31.3

【回答傾向】

外国人の人権が守られるために必要と思われることについて、「1 国際理解・国際協調の精神を養う」が41.8%、「2 日本人と外国人・外国籍市民との交流の機会を増やす」が41.3%、「3 外国人・外国籍市民も、地域社会を支えている一員であるという理解を広める」が31.0%と最も多く、次いで「4 不法な就労や雇用などに対する取締りや罰則を強化する」が29.2%、となっている。

性別で見ると、男性より女性の割合が高い項目は、「6 外国人・外国籍市民が安心して生活できるように、外国語でも情報を提供する」(女性：28.2%、男性：20.1%)となっている。

年齢別で見ると、「1 国際理解・国際協調・多文化共生精神を養う」は20歳代が55.4%と最も高く、「2 日本人と外国人との交流の機会を増やす」(47.6%)、「5 外国人のための人権相談体制を充実する」(21.4%)は80歳以上の年齢層が最も高い。

【分析】

1位は「国際理解・国際協調・多文化共生精神を養う」(41.8%)、2位は「日本人と外国

人との交流の機会を増やす」(41.3%)である。いずれも前回調査より 8.35 ポイント、5.0 ポイントそれぞれ増加し、交流を通して相互理解を進めることが上位に挙げられている。「不法な就労や雇用などに対する取締りや罰則を強化する」が 29.2%あり、外国人の人権擁護というより不法滞在者への取り締まりを求める意識も 3 割弱見られる。しかし、長く続いてきた外国人登録制度が廃止されて市区町村で住民登録するようになると変わるなど、外国人も地域住民として扱われる時代となっている。

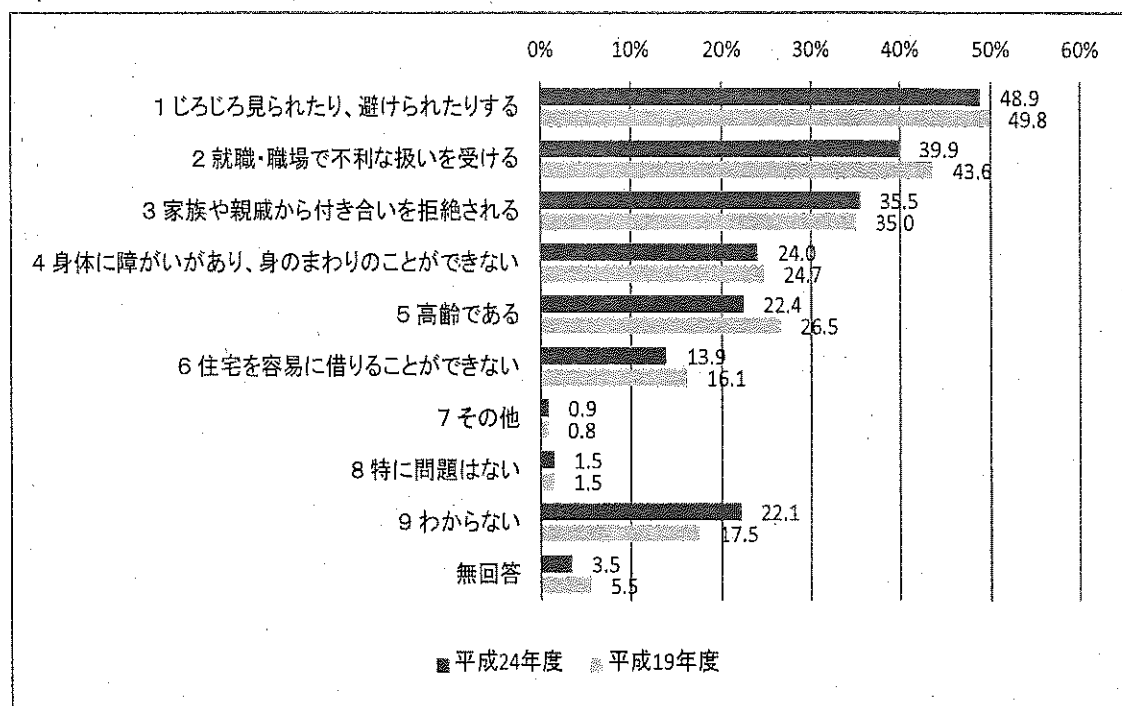
県内在住の外国人が切実に求めていることは、交流による相互理解の推進と言葉の対策である(香川県「かがわ多文化共生推進プラン」2012(平成24)年より)。

▽行政サービスへの要望(複数回答・単位%)

1 交流や相互理解の機会を提供する	36.2
2 制度やサービスを多言語で情報提供する	34.5
3 外国語で対応できる職員を増やす	26.7
4 外国語の相談窓口を充実させる	23.7
5 日本語教室を充実させる	23.7

(7) ハンセン病患者・回復者の人権

問20 療養所に入所しているハンセン病患者・回復者が、地域で自立した生活をするために、どのようなことがさまたげになると思いますか。(〇は3つまで)



■ハンセン病患者・回復者の人権問題に関する意識

(%)

分類	合計 (人)	1 じろじろ見られたり、 避けられたりする	2 就職・職場で不利 な扱いを受ける	3 家族や親戚から付き合い を拒絶される	4 身体に障がいがあり、 身のまわりのことが できない	
総数 (N)	1,295	48.9	39.9	35.5	24.0	
性別	男性	522	49.0	41.6	33.1	24.5
	女性	755	48.9	38.7	37.4	23.6
	不明	18	44.4	44.4	27.8	27.8
年齢別	20～29歳	101	52.5	54.5	47.5	32.7
	30～39歳	194	49.5	42.3	37.6	25.8
	40～49歳	190	54.2	41.6	43.2	30.5
	50～59歳	212	52.8	40.6	36.8	24.5
	60～69歳	300	45.0	37.3	31.3	17.7
	70～79歳	198	44.9	35.4	26.3	20.2
	80歳以上	84	47.6	31.0	35.7	23.8
	不明	16	31.3	43.8	18.8	31.3

分類	合計 (人)	5 高齢である	6 住宅を容易に借りる ことができない	7 その他	8 特に問題はない	9 わからない	無回答	
総数 (N)	1,295	22.4	13.9	0.9	1.5	22.1	3.5	
性別	男性	522	20.9	13.2	1.5	1.7	21.6	3.3
	女性	755	23.6	14.3	0.5	1.5	22.8	3.3
	不明	18	16.7	16.7	-	-	5.6	16.7
年齢別	20～29歳	101	7.9	11.9	1.0	2.0	16.8	-
	30～39歳	194	20.1	16.0	1.5	2.1	16.5	1.5
	40～49歳	190	24.7	11.1	0.5	0.5	16.3	1.1
	50～59歳	212	23.6	13.2	0.5	0.5	21.7	0.9
	60～69歳	300	27.0	13.0	1.0	1.0	26.7	5.3
	70～79歳	198	23.7	15.7	0.5	3.0	29.8	5.6
	80歳以上	84	19.0	17.9	2.4	2.4	23.8	9.5
	不明	16	12.5	18.8	-	6.3	6.3	18.8

【回答傾向】

療養所に入所しているハンセン病患者・回復者が、地域で自立した生活をするために、さまたげになると思われることについて、「1 じろじろ見られたり、避けられたりする」が48.9%と最も多く、次いで「2 就職・職場で不利な扱いを受ける」が39.9%、「3 家族や親戚から付き合いを拒絶される」が35.5%、「4 身体に障がいがあり、身のまわりのことができない」が24.0%、「5 高齢である」が22.4%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、その中で差が一番大きいのは、「2 就職・職場で不利な扱いを受ける」(男性：41.6%、女性：38.7%)であり、一方男性より女性の割合が高い項目は、差が大きい順より「3 家族や親戚から付き合いを拒絶される」(女性：37.4%、男性：33.1%)、「5 高齢である」(女性：23.6%、男性：20.9%)となっている。

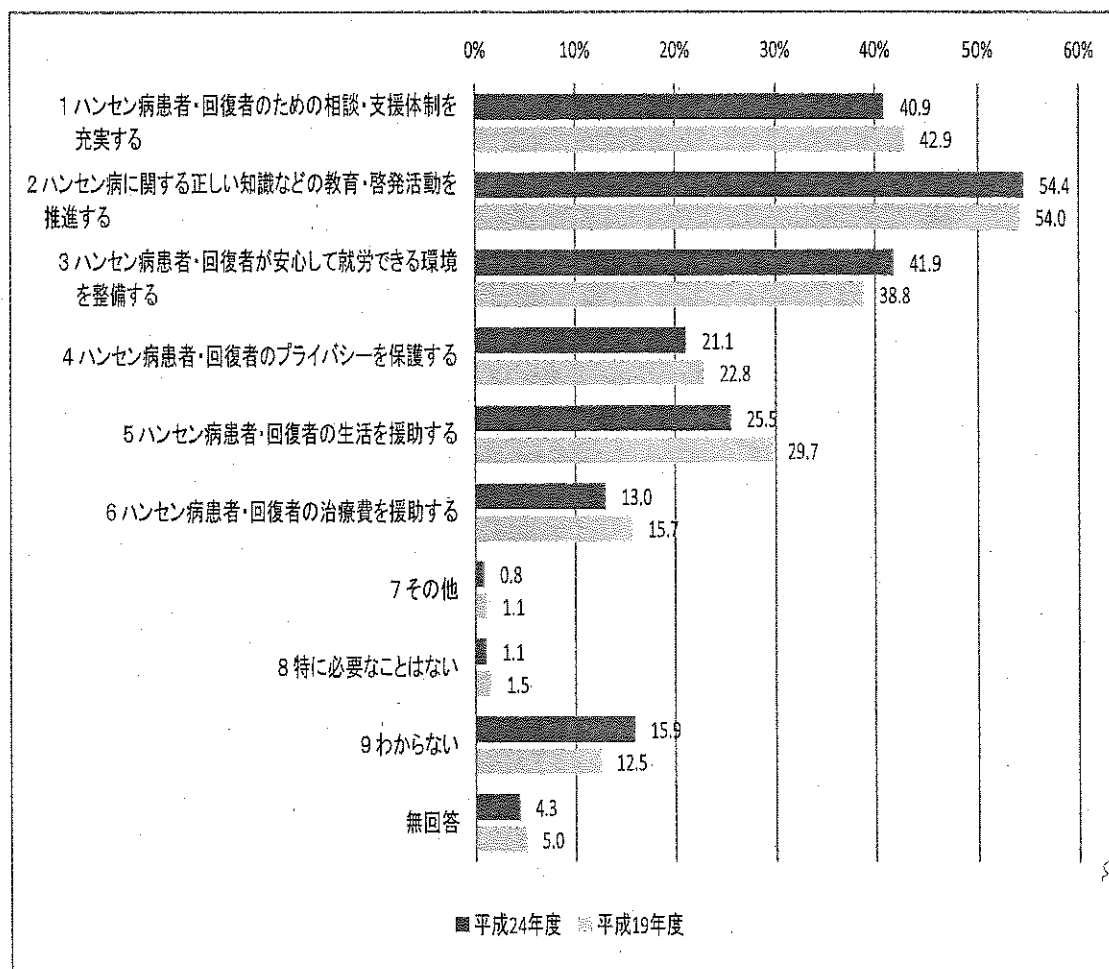
年齢別でみると、20歳代で「2 就職・職場で不利な扱いを受ける」(54.5%)、「3 家族や親戚から付き合いを拒絶される」(47.5%)が最も割合が高く、60歳代は「5 高齢である」が27.0%と他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

元患者の方々は平均年齢約80歳の高齢者で、就労問題は大きな問題と考えられない。ハ

ンセン病問題の正しい理解が十分とは言えない。

問21 ハンセン病患者・回復者の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)



■ハンセン病患者・回復者の人権を守るために必要なこと

(%)

分類	合計 (人)	1 ハンセン病患者・回復者のための相談・支援体制を充実する	2 ハンセン病に関する正しい知識などの教育・啓発活動を推進する	3 ハンセン病患者・回復者が安心して就労できる環境を整備する	4 ハンセン病患者・回復者のプライバシーを保護する	
総数 (N)	1,295	40.9	54.4	41.9	21.1	
性別	男性	522	40.6	56.3	41.0	20.7
	女性	755	41.3	53.5	42.8	21.1
	不明	18	33.3	38.9	27.8	33.3
年齢別	20～29歳	101	34.7	57.4	49.5	21.8
	30～39歳	194	41.2	60.8	42.8	20.6
	40～49歳	190	43.7	57.4	44.7	21.1
	50～59歳	212	44.8	55.7	39.2	19.3
	60～69歳	300	37.0	55.7	40.0	18.3
	70～79歳	198	40.4	47.0	41.4	24.2
	80歳以上	84	47.6	44.0	39.3	27.4
	不明	16	37.5	31.3	37.5	25.0

分類	合計 (人)	5 ハンセン病患者・回復 者の生活を援助する	6 ハンセン病患者・回復 者の治療費を援助する	7 その他	8 特に必要な ことはない	9 わからない	無回答
総数 (N)	1,295	25.5	13.0	0.8	1.1	15.9	4.3
性別	男性	522	24.5	12.6	1.0	1.1	3.4
	女性	755	26.1	13.1	0.7	1.1	4.4
	不明	18	27.8	16.7	5.6	-	27.8
年齢別	20～29歳	101	37.6	15.8	2.0	1.0	-
	30～39歳	194	22.2	14.4	1.0	1.0	1.0
	40～49歳	190	24.7	10.5	1.1	1.6	1.6
	50～59歳	212	30.2	13.7	0.9	0.5	1.4
	60～69歳	300	25.7	9.3	0.7	0.3	6.0
	70～79歳	198	21.2	14.1	0.5	2.0	7.6
	80歳以上	84	16.7	21.4	-	2.4	11.9
	不明	16	31.3	6.3	-	-	31.3

【回答傾向】

ハンセン病患者・回復者の人権が守られるために必要と思われることについて、「2 ハンセン病に関する正しい知識などの教育・啓発活動を推進する」が54.4%と最も多く、次いで「3 ハンセン病患者・回復者が安心して就労できる環境を整備する」が41.9%、「1 ハンセン病患者・回復者のための相談・支援体制を充実する」が40.9%、「5 ハンセン病患者・回復者の生活を援助する」が25.5%、「4 ハンセン病患者・回復者のプライバシーを保護する」が21.1%となっている。

性別の差異はあまりみられない。

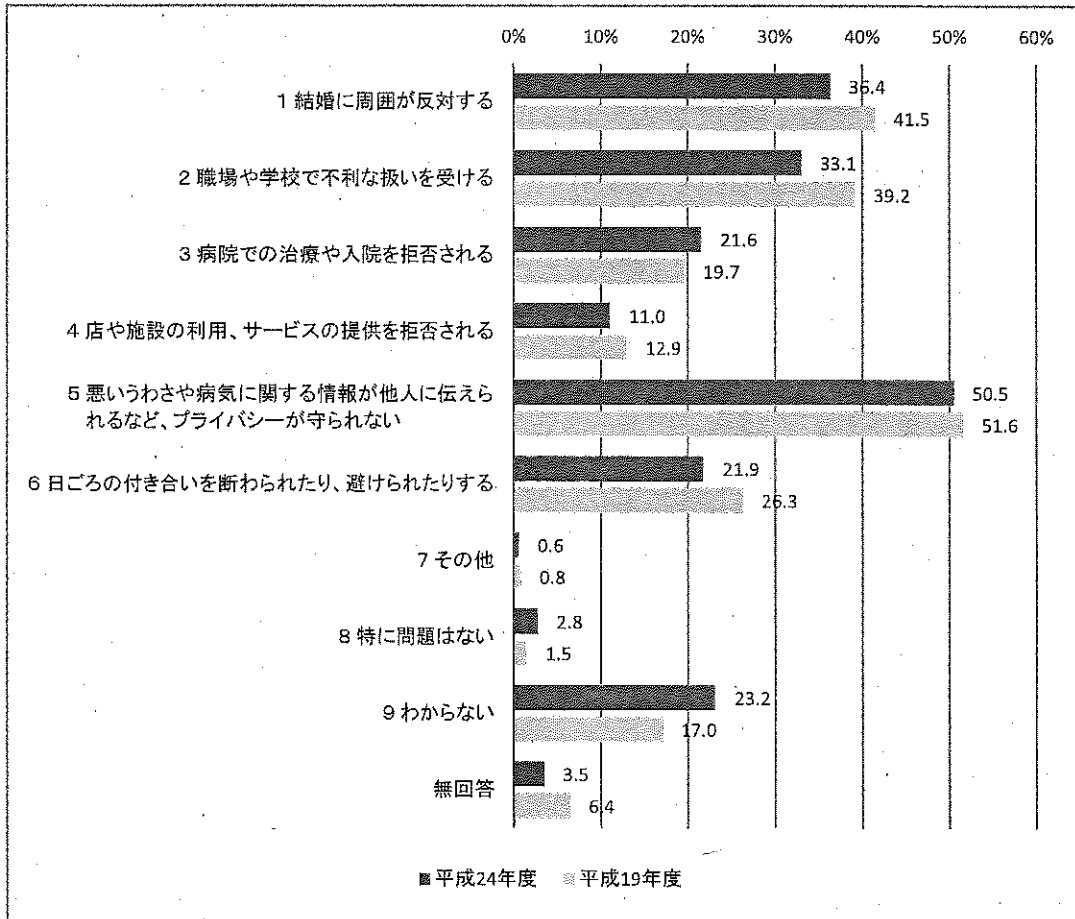
年齢別にみると、20歳代で「3 ハンセン病患者・回復者が安心して就労できる環境を整備する」(49.5%)、「5 ハンセン病患者・回復者の生活を援助する」(21.8%)の割合が最も高くなっている。

【分析】

病気への誤解から社会排除が行われてきたので、薬によって完治することなど病気について正しい理解が必要である。

(8) HIV (エイズウイルス) 感染者等の人権

問22 HIV (エイズウイルス) 感染者等に関することで、人権上、特にどのようなことが問題だと思いますか。(〇は3つまで)



■ HIV (エイズウイルス) 感染者等の人権問題に関する意識

(%)

分類	合計 (人)	1 結婚に周囲が反対する	2 職場や学校で不利な扱いを受ける	3 病院での治療や入院を拒否される	4 店や施設の利用、サービスの提供を拒否される	
総数 (N)	1,295	36.4	33.1	21.6	11.0	
性別	男性	522	37.4	32.6	19.2	12.5
	女性	755	36.0	33.6	23.4	10.2
	不明	18	22.2	22.2	16.7	5.6
年齢別	20~29歳	101	45.5	37.6	23.8	9.9
	30~39歳	194	31.4	34.0	24.2	12.9
	40~49歳	190	41.1	41.6	23.7	10.0
	50~59歳	212	42.0	39.6	24.5	9.9
	60~69歳	300	33.3	28.3	21.3	9.7
	70~79歳	198	34.3	23.7	14.6	13.6
	80歳以上	84	32.1	31.0	19.0	14.3
	不明	16	12.5	18.8	18.8	-

分類	合計 (人)	5 悪いうわさや病気に関する情報 が他人に伝えられるなど、 プライバシーが守られない	6 日ごろの付き合いを 断わられたり、避け られたりする	7 その他	8 特に問題は ない	9 わからない	無回答	
総数 (N)	1,295	50.5	21.9	0.6	2.8	23.2	3.5	
性別	男性	522	53.3	21.8	0.6	3.3	21.5	2.9
	女性	755	49.3	21.9	0.7	2.5	24.2	3.4
	不明	18	22.2	22.2	-	-	27.8	22.2
年齢別	20~29歳	101	69.3	31.7	-	1.0	8.9	-
	30~39歳	194	60.3	34.5	1.5	1.5	13.9	1.0
	40~49歳	190	56.8	24.7	0.5	2.6	16.8	1.6
	50~59歳	212	58.0	17.9	0.5	0.9	18.9	0.9
	60~69歳	300	43.7	17.7	0.3	4.0	31.0	4.7
	70~79歳	198	38.9	15.2	0.5	5.6	33.8	6.1
	80歳以上	84	28.6	15.5	1.2	1.2	34.5	9.5
不明	16	25.0	18.8	-	6.3	18.8	25.0	

【回答傾向】

HIV（エイズウイルス）感染者等に関することで、人権上、特に問題があると思われることについて、「5 悪いうわさや病気に関する情報が他人に伝えられるなど、プライバシーが守られない」が50.5%と最も多く、次いで「1 結婚に周囲が反対する」が36.4%、「2 職場や学校で不利な扱いを受ける」が33.1%、「6 日ごろの付き合いを断わられたり、避けられたりする」が21.9%「3 病院での治療や入院を拒否される」が21.6%となっている。

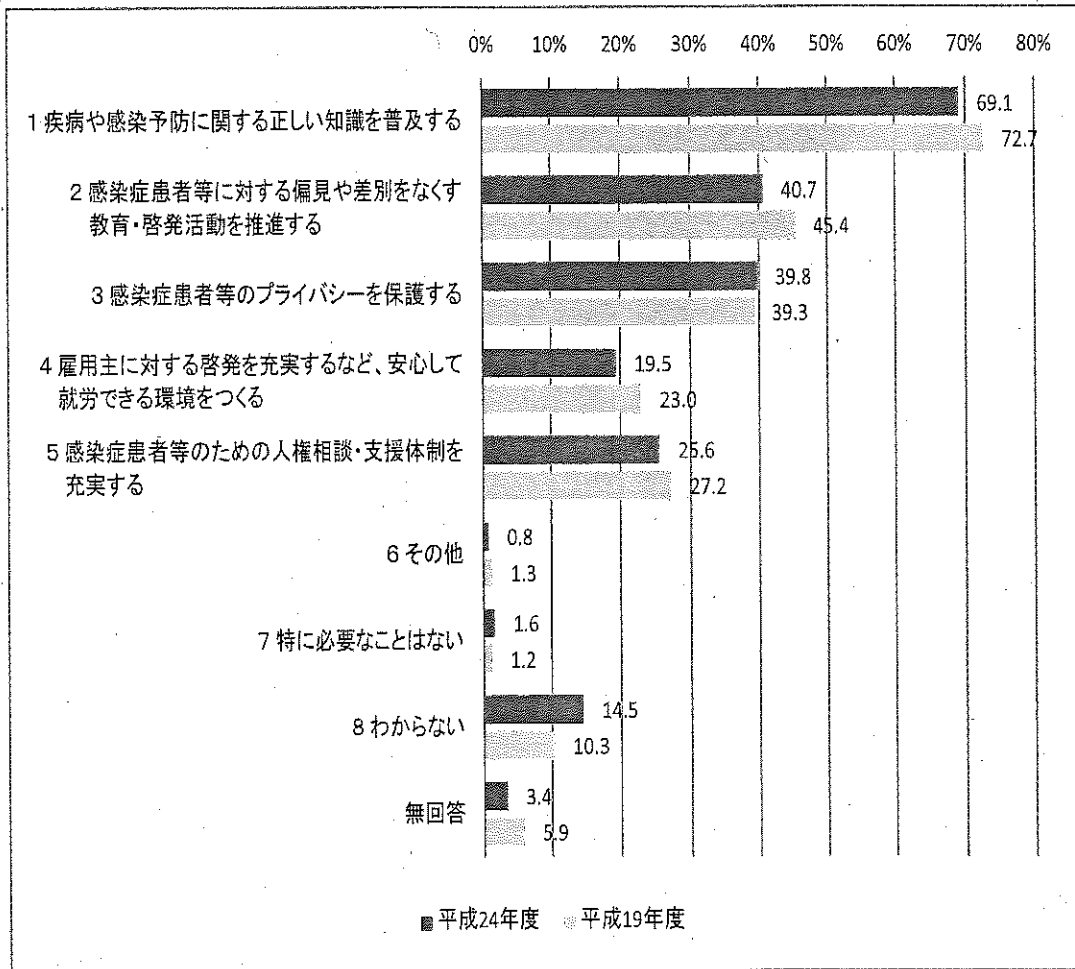
性別で見ると、女性より男性の割合が高く、その中で差が一番大きいのは、「5 悪いうわさや病気に関する情報が他人に伝えられるなど、プライバシーが守られない」（男性：53.3%、女性：49.3%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、その中で差が一番大きいのは、「3 病院での治療や入院を拒否される」（女性：23.4%、男性：19.2%）となっている。

年齢別で見ると、20歳代で「1 結婚に周囲が反対する」（45.5%）、「5 悪いうわさや病気に関する情報が他人に伝えられるなど、プライバシーが守られない」（69.3%）が最も割合が高くなっている。

【分析】

「わからない」が外国人の人権に次いで多い。特に60歳代以上では「わからない」が3割以上見られる。

問23 HIV（エイズウイルス）感染者等の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）



■ HIV（エイズウイルス）感染者等の人権を守るために必要なこと (%)

分類	合計 (人)	1 疾病や感染予防に関する正しい知識を普及する (%)	2 感染症患者等に対する偏見や差別をなくす教育・啓発活動を推進する (%)	3 感染症患者等のプライバシーを保護する (%)	4 雇用主に対する啓発を充実するなど、安心して就労できる環境をつくる (%)	
総数 (N)	1,295	69.1	40.7	39.8	19.5	
性別	男性	522	66.1	41.0	40.2	16.9
	女性	755	71.9	40.7	39.7	21.3
	不明	18	38.9	33.3	27.8	16.7
年齢別	20～29歳	101	70.3	44.6	52.5	28.7
	30～39歳	194	73.2	37.1	41.8	22.7
	40～49歳	190	75.8	42.6	38.9	23.2
	50～59歳	212	75.9	44.8	45.8	18.9
	60～69歳	300	67.3	42.3	37.7	17.7
	70～79歳	198	60.1	33.8	35.9	11.6
	80歳以上	84	59.5	41.7	26.2	20.2
	不明	16	37.5	31.3	25.0	12.5

分類	合計 (人)	5 感染症患者等の人権 相談・支援体制を充実する	6 その他	7 特に必要なことは ない	8 わからない	無回答	
総数 (N)	1,295	25.6	0.8	1.6	14.5	3.4	
性別	男性	522	25.5	1.1	2.9	14.8	3.1
	女性	755	25.7	0.5	0.8	14.3	3.2
	不明	18	22.2	-	-	16.7	22.2
年齢別	20～29歳	101	23.8	1.0	-	9.9	-
	30～39歳	194	24.7	2.6	1.5	9.8	1.0
	40～49歳	190	21.6	1.6	4.2	10.0	0.5
	50～59歳	212	21.7	-	0.5	9.9	0.9
	60～69歳	300	25.7	-	1.3	17.3	4.7
	70～79歳	198	33.3	0.5	2.0	22.7	6.1
	80歳以上	84	29.8	-	-	22.6	10.7
	不明	16	25.0	-	6.3	18.8	25.0

【回答傾向】

HIV (エイズウイルス) 感染者等の人権が守られるために必要と思われることについて、「1 疾病や感染予防に関する正しい知識を普及する」が69.1%と最も多く、次いで「2 感染症患者等に対する偏見や差別をなくす教育・啓発活動を推進する」が40.7%、「3 感染症患者等のプライバシーを保護する」が39.8%、「5 感染症患者等の人権相談・支援体制を充実する」が25.6%、「4 雇用主に対する啓発を充実するなど、安心して就労できる環境をつくる」が19.5%となっている。

性別でみると、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「1 疾病や感染予防に関する正しい知識を普及する」(女性：71.9%、男性：66.1%)、「4 雇用主に対する啓発を充実するなど、安心して就労できる環境をつくる」(女性：21.3%、男性：16.9%)となっている。

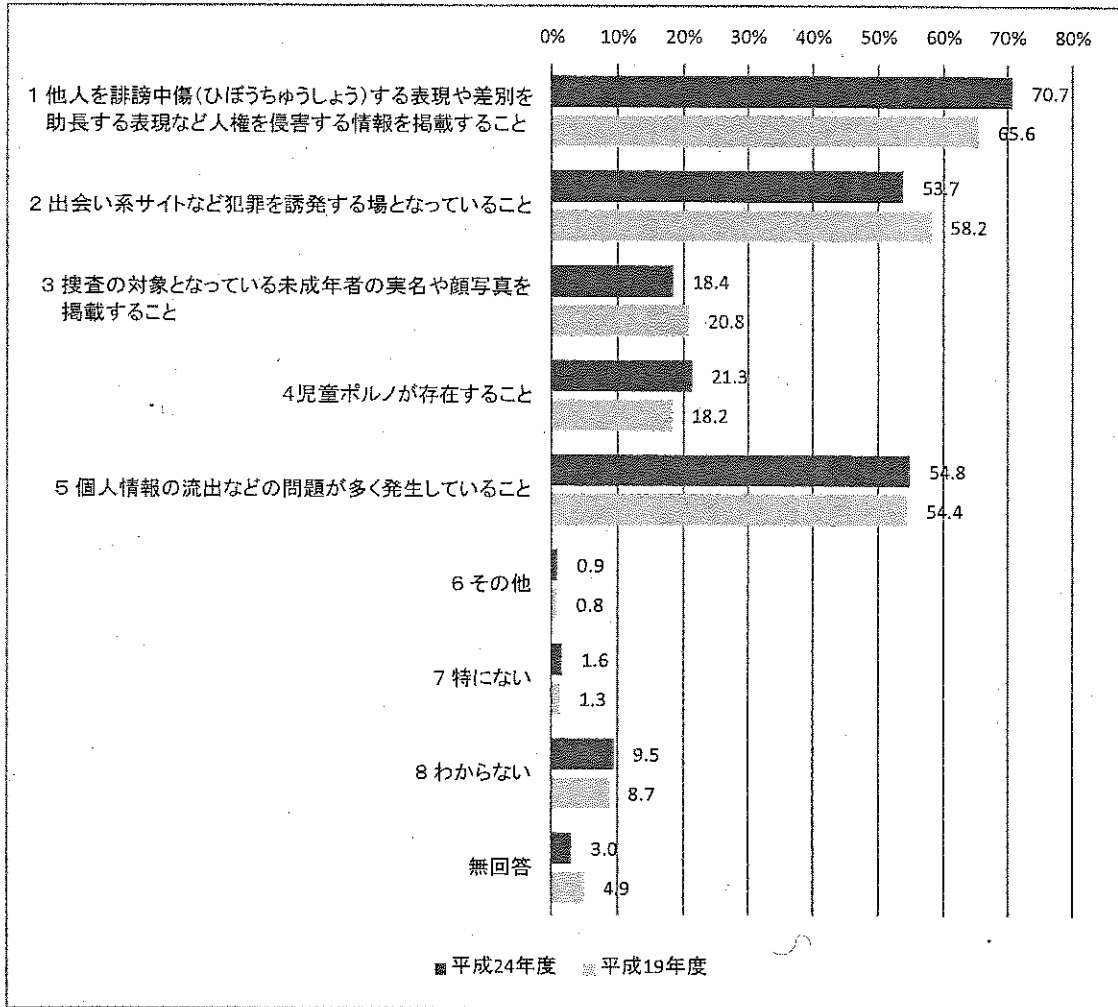
年齢別でみると、20歳代で「3 感染症患者等のプライバシーを保護する」(52.5%)、「4 雇用主に対する啓発を充実するなど、安心して就労できる環境をつくる」(28.7%)が最も割合が高く、最も回答の多かった「1 疾病や感染予防に関する正しい知識を普及する」では特に50歳代が75.9%と高い割合となっている。

【分析】

病気への正しい理解があれば感染者への誤解が解消し、差別が解消される。プライバシー保護も重要な課題である。

(9) インターネットによる人権侵害

問24 インターネットを悪用した人権侵害で、人権上、特にどのようなことが問題だと思えますか。
(〇は3つまで)



■インターネットを悪用した人権侵害での人権問題に関する意識

(%)

分類	合計 (人)	1 他人を誹謗中傷(ひぼうちゆうしょう)する表現や差別を助長する表現など人権を侵害する情報を掲載すること	2 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	3 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること	4 児童ポルノが存在すること	
総数 (N)	1,295	70.7	53.7	18.4	21.3	
性別	男性	522	70.9	55.7	15.5	18.8
	女性	755	71.3	52.6	20.1	23.0
	不明	18	44.4	44.4	27.8	22.2
年齢別	20~29歳	101	76.2	57.4	18.8	19.8
	30~39歳	194	83.0	50.0	16.5	25.8
	40~49歳	190	83.7	56.3	19.5	24.7
	50~59歳	212	79.2	55.7	22.6	15.6
	60~69歳	300	65.3	57.0	14.3	22.0
	70~79歳	198	54.0	51.0	16.7	21.7
	80歳以上	84	48.8	45.2	27.4	17.9
	不明	16	43.8	37.5	18.8	12.5

分類	合計 (人)	5 個人情報の流出などの問題が 多く発生していること	6 その他	7 特にない	8 わからない	無回答	
総数(N)	1,295	54.8	0.9	1.6	9.5	3.0	
性別	男性	522	55.0	1.1	1.9	8.4	1.7
	女性	755	55.2	0.8	1.3	10.5	3.4
	不明	18	33.3	-	5.6	-	22.2
年齢別	20～29歳	101	74.3	-	1.0	2.0	-
	30～39歳	194	60.3	2.1	1.5	1.5	0.5
	40～49歳	190	65.3	1.1	0.5	2.6	0.5
	50～59歳	212	56.6	1.4	-	7.5	1.9
	60～69歳	300	49.3	0.3	2.3	12.0	4.0
	70～79歳	198	46.0	1.0	2.5	22.2	5.1
	80歳以上	84	35.7	-	2.4	20.2	8.3
	不明	16	31.3	-	12.5	-	25.0

【回答傾向】

インターネットを悪用した人権侵害で、人権上、特に問題があると思われることについて、「1 他人を誹謗中傷（ひぼうちゆうしょう）する表現や差別を助長する表現など人権を侵害する情報を掲載すること」が70.7%と最も多く、次いで「5 個人情報の流出などの問題が多く発生していること」が54.8%、「2 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」が53.7%となっている。

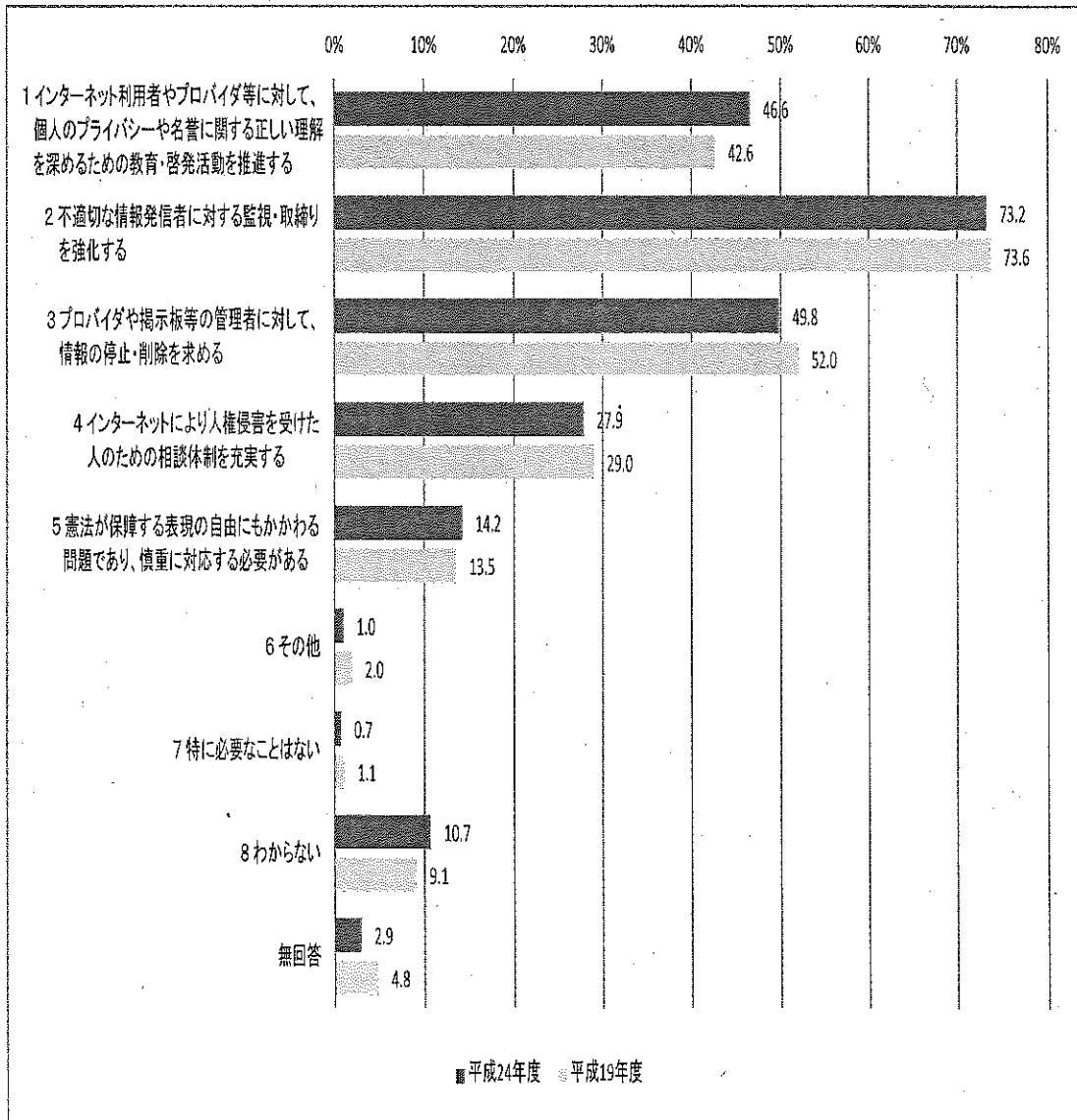
性別で見ると、女性より男性の割合が高く、その中で差が一番大きいのは、「2 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」（男性：55.7%、女性：52.6%）となっており、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「3 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること」（女性：20.1%、男性：15.5%）、「4 児童ポルノが存在すること」（女性：23.0%、男性：18.8%）となっている。

年齢別で見ると、30歳代、40歳代で「1 他人を誹謗中傷（ひぼうちゆうしょう）する表現や差別を助長する表現など人権を侵害する情報を掲載すること」と回答した割合が8割を超えており、「5 個人情報の流出などの問題が多く発生していること」は20歳代で74.3%、「3 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること」は80歳以上で27.4%と最も割合が高くなっている。

【分析】

インターネットの匿名性が悪用されて人権侵害が起きているとの認識が広がっている。インターネットは新しいメディアであることから、若い世代と高齢世代で意識に大きな違いが見られる。

問25 インターネットを悪用した人権侵害の解決のためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



■インターネットを悪用した人権侵害から人権を守るために必要なこと

(%)

分類	合計 (人)	1 インターネット利用者やプロバイ ダ等に対して、個人のプライバ シーや名誉に関する正しい理解 を深めるための教育・啓発活動 を推進する	2 不適切な情報発信者 に対する監視・取締り を強化する	3 プロバイダや掲示板等 の管理者に対して、情報 の停止・削除を求める	4 インターネットにより 人権侵害を受けた人 のための相談体制を 充実する	
総数 (N)	1,295	46.6	73.2	49.8	27.9	
性別	男性	522	46.2	72.6	50.6	31.0
	女性	755	47.3	74.3	49.9	26.0
	不明	18	27.8	44.4	22.2	16.7
年齢別	20~29歳	101	43.6	78.2	49.5	25.7
	30~39歳	194	46.4	80.4	55.2	26.3
	40~49歳	190	50.5	79.5	56.8	31.6
	50~59歳	212	49.1	76.4	57.1	28.8
	60~69歳	300	46.0	72.0	53.0	25.3
	70~79歳	198	48.0	63.1	35.4	29.8
	80歳以上	84	36.9	61.9	31.0	32.1
	不明	16	31.3	43.8	25.0	6.3

分類	合計 (人)	5 憲法が保障する表現の自由にも かかわる問題であり、慎重に 対応する必要がある	6 その他	7 特に必要なことは ない	8 わからない	無回答	
総数 (N)	1,295	14.2	1.0	0.7	10.7	2.9	
性別	男性	522	16.3	1.1	0.6	9.0	1.5
	女性	755	12.6	0.9	0.7	11.8	3.3
	不明	18	22.2	-	5.6	11.1	27.8
年齢別	20~29歳	101	24.8	1.0	-	6.9	-
	30~39歳	194	17.0	4.6	1.0	3.1	0.5
	40~49歳	190	14.2	1.6	0.5	4.2	0.5
	50~59歳	212	11.3	-	-	8.5	1.9
	60~69歳	300	11.7	-	-	12.3	4.0
	70~79歳	198	10.6	-	2.0	21.7	4.0
	80歳以上	84	17.9	-	1.2	21.4	8.3
	不明	16	25.0	-	6.3	6.3	31.3

【回答傾向】

インターネットを悪用した人権侵害の解決のために必要と思われることについて、「2 不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が73.2%と最も多く、次いで「3 プロバイダや掲示板等の管理者に対して、情報の停止・削除を求める」が49.8%、「1 インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動を推進する」が46.6%、「4 インターネットにより人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する」が27.9%、一方、「5 憲法が保障する表現の自由にもかかわる問題であり、慎重に対応する必要がある」が14.2%となっている。

性別で見ると、全体の傾向と大きな差はみられない。

年齢別で見ると、「2 不適切な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が30歳代で80.4%、「5 憲法が保障する表現の自由にもかかわる問題であり、慎重に対応する必要がある」は20歳代で24.8%と他の年齢層と比較して割合が高くなっている。

【分析】

インターネットを利用してのいわゆる差別書き込みがみられる。書いた本人は誰かわからず、内容は一方的で事実と異なる悪質なものも多いほか、脅迫など犯罪になるものもある。このようなことから、今後とも差別書き込みについては、行政からプロバイダや掲示板等の管理者に対して、削除を求めるなどの取組みが必要である。

5 人権尊重社会実現への取組み

(1) 講演会・研修会に関する意識

問26 人権に関する講演会などへ参加したことがありますか。(〇はいくつでも)

